

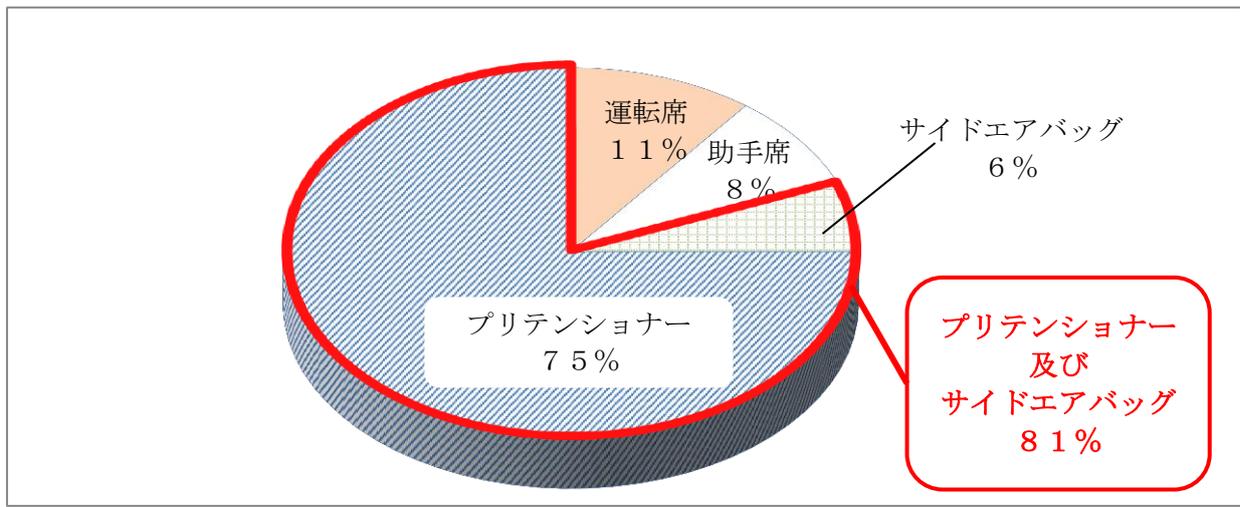
(参考) 2014 年度車上作動処理監査結果

1. エアバッグ類の処理忘れ状況

車上作動処理現地監査におけるエアバッグ類の処理忘れ状況を分析したところ、以下のような結果となりました。エアバッグ類の処理忘れ等が確認された場合には、エアバッグ類車上作動処理業務規約に基づく措置（車上作動処理の登録取消・一時停止等）を実施しておりますので、適正処理の徹底をお願いいたします。

① 処理忘れ部位

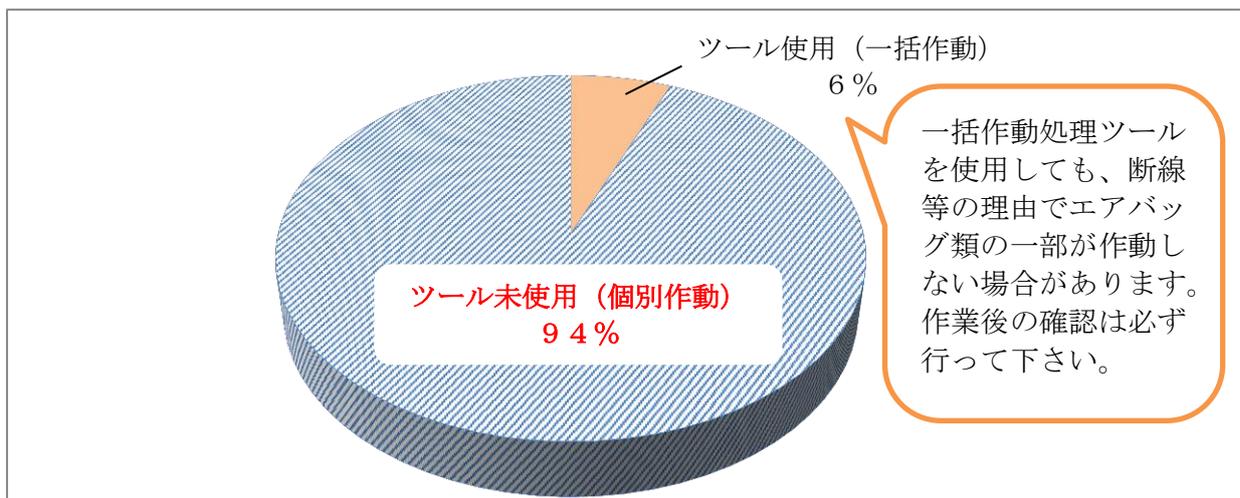
シートベルトプリテンショナー及びサイドエアバッグの処理忘れが81%を占めていました。作業前の装備部位確認・作業後の作動状況確認を必ず行ってください。



② 処理忘れ発生時の作業方法

一括作動対応車において、一括作動処理ツール未使用（個別作動）による処理忘れが94%発生していました。

一括作動処理ツールをお持ちの方は、ツールを使用して作業を行ってください。



2. 処理忘れへの対策

作業工程ごとに以下の対策を実施し、確実な処理をお願いいたします。

- 作業前…装備確認時における「車台詳細情報」の活用
- 作業中…一括作動処理ツールの使用
- 作業後…全てのエアバッグ類が作動しているかの確認